※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	MOUSA2（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を学習します。
・音楽がどのように形づくられ、それをどのように感じて表すのかについて、他者とともに音楽を分かち合いながら学習を進めていきます。
・歴史的、文化的背景などの広い視野で音楽を捉えることで、音楽文化の理解を一層深めていきます。
・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他者の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げていきましょう。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした個性豊かな音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現する意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間	曲想にふさわしい歌い方を探ろう	【歌唱】 「糸」「ハナミズキ」 「Best Friend」 (2 部) 「花は咲く」（独唱） 「Sogno」（独唱）	a:言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりや、歌唱表現の多様性について理解している。(知識) a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方や、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。(技能) b: 言葉の特性と曲種に応じた発声の関わりによって生み出される効果を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うかについて個性豊かな表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞、歌唱表現の多様さに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表	ワークシート	観察 ワークシート
	様々な音・役割の調和	【器楽】アンサンブル 「オブラディオブラダ」 「天国と地獄」	a: パートの役割や、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。(知識) a:パートの役割や、音色に応じた身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。(技能) b:パートの役割や、曲想、楽器の音色、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色との関わりについて、様々なパートの役割に関心をもち、他者との調和を意識して、創意工夫して主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表	ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

後期期末	言葉を伝えよう	【歌唱】 「心の瞳」（3 部）	a:曲想や音楽の構造と歌詞との関わりや、合唱による表現の特徴について理解している。(知識) a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方や、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。(技能) b:パートの役割や音の重なりを知覚し、それらの働きを感受しながら、歌詞との関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を工夫している。 c: 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、合唱による表現の特徴を理解し、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート 演奏発表	 ワーク シート	 観察 ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

	コードで弾き歌いに挑戦！	【器楽・創作】 ギター 「空も飛べるはず」	a：曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。（知識） a：音楽の構成にふさわしい奏法や、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） a：音型やリズムの特徴及び音楽の構成上の特徴を、表したいイメージと関わらせて理解している。（知識） a:変化、対照などの手法を活用して編曲する技能を身に付けている。（技能） b:音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。 b:音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに音楽をつくろうとする表現意図をもっている。 c: 曲想と楽器の音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的によりよい表現を追求する学習活動に取り組もうとしている。 c: 曲想と楽器の音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏テスト	ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	三線に親しもう	【歌唱・器楽】三線 「涙そうそう」	a: 曲想と文化的･歴史的背景との関わりや、楽器の音色と奏法の関わりについて理解している。（知識） a:曲にふさわしい発声、音色、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:奏法や、三線や沖縄音楽に関わる知識や技能を得たり意識したりして、それらの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色、文化的･歴史的背景との関わりについて関心をもち、他者との調和を意識して、楽しみながら主体的･協働的に表現する学習に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表	ワークシート	観察 ワークシート
	世界の音楽	【鑑賞】 「アジア」 「ヨーロッパ」 「アフリカ」 「アメリカ」 「日本」	a:様々な国の音楽の特徴と文化的･歴史的背景、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。（知識） b:曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 我が国や様々な国の音楽や楽器、文化の特徴に関心をもち、音楽表現の共通性や固有性について考えながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	鑑賞の記録	鑑賞の記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度